

全般季節予報支援資料 1か月予報

2025年8月7日

予報期間：8月9日～9月8日

この資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する季節予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

特に注意を要する事項

北・東・西日本では、向こう1か月は気温の高い状態が続くでしょう。期間の前半は気温がかなり高くなる可能性があります。沖縄・奄美でも期間のはじめは気温がかなり高くなる見込みです。

出現の可能性が最も大きい天候

- ・北日本では、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。
- ・東・西日本と沖縄・奄美では、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

全般1か月予報

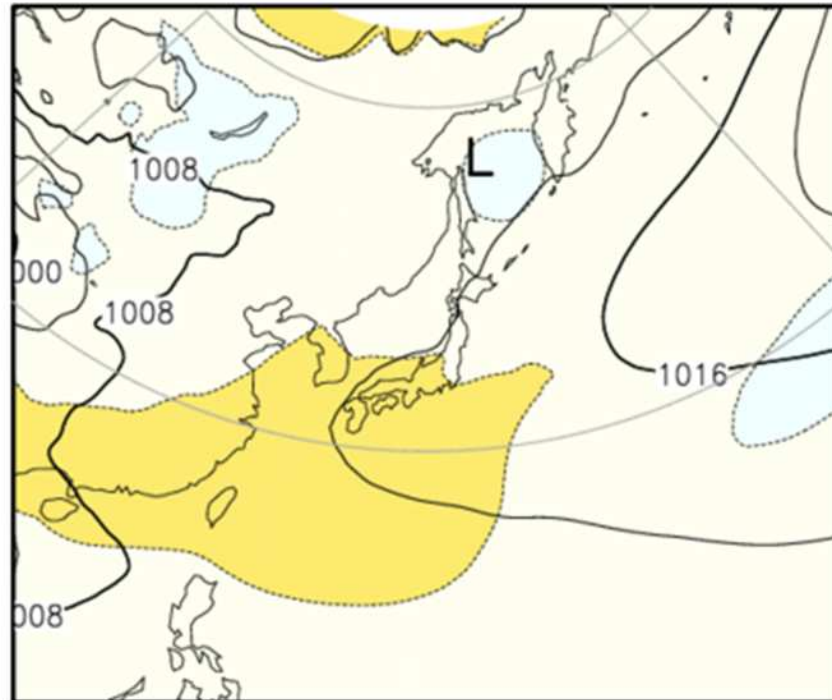
1か月		気温(%)	降水量(%)	日照時間(%)	降雪量(%)
		低 並 高	少 並 多	少 並 多	少 並 多
北日本	日本海側 太平洋側	10:10:80	40:40:20 50:30:20	10:30:60 10:30:60	
東日本	日本海側 太平洋側	10:10:80	40:30:30 40:40:20	20:30:50 20:30:50	
西日本	日本海側 太平洋側	10:30:60	30:40:30 30:40:30	20:30:50 20:30:50	
沖縄・奄美		10:40:50	40:40:20	20:40:40	

気温	1週目(%)	2週目(%)	3～4週目(%)
	低 並 高	低 並 高	低 並 高
北日本	10:10:80	10:10:80	10:20:70
東日本	10:30:60	10:20:70	10:20:70
西日本	20:30:50	10:20:70	10:30:60
沖縄・奄美	10:20:70	20:40:40	20:40:40

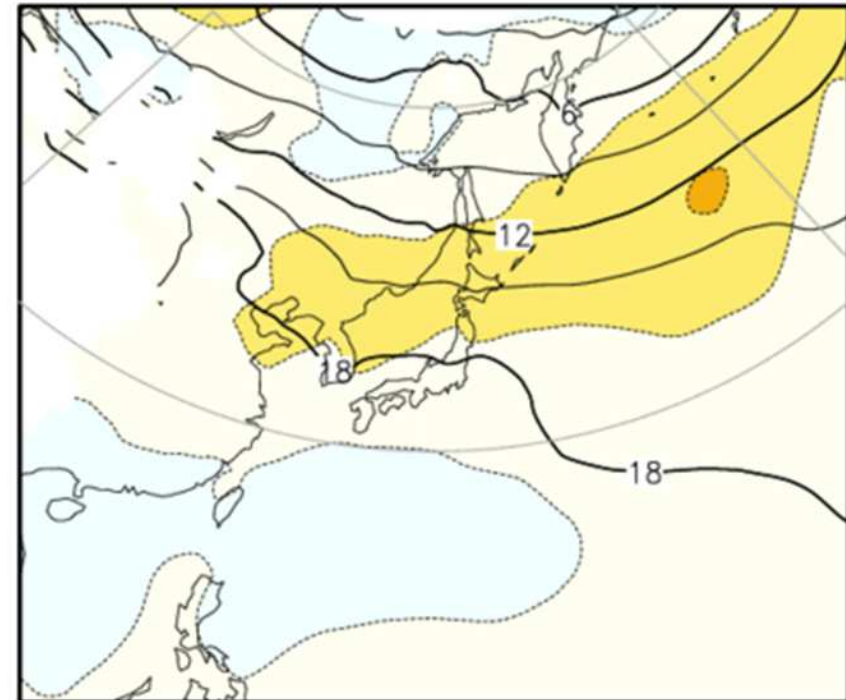
全般予報のポイント

- 北・東・西日本では、暖かい空気に覆われ、気温のかなり高い状態が続いています。向こう1か月の気温も、全国的に暖かい空気に覆われやすいため、高い状態が続くでしょう。北・東・西日本では期間の前半は気温がかなり高くなる可能性があります。沖縄・奄美でも期間のはじめは気温がかなり高くなる見込みです。
- 向こう1か月の降水量は、太平洋高気圧に覆われやすいため、北日本太平洋側で少なく、北日本日本海側、東日本太平洋側と沖縄・奄美で平年並か少ないでしょう。
- 向こう1か月の日照時間は、全国的に太平洋高気圧に覆われやすいため、北・東・西日本で多く、沖縄・奄美で平年並か多いでしょう。

海面気圧(1か月)



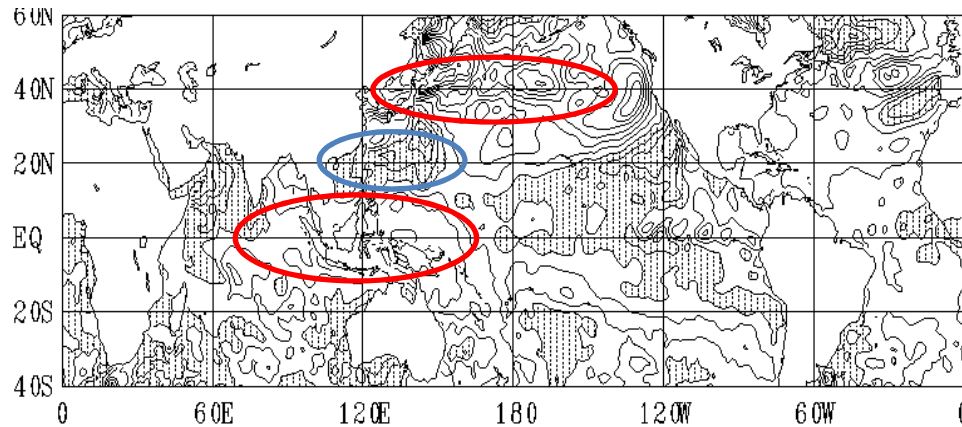
上空約1500mの気温(1か月)



1か月平均の海面気圧(左図)は、太平洋高気圧が日本の東海上から日本付近に張り出すと予測されており、全国的に太平洋高気圧に覆われやすいでしょう。なお、期間のはじめは、東・西日本中心に低気圧や前線、太平洋高気圧周辺の湿った空気の影響を受けやすい見込みです。

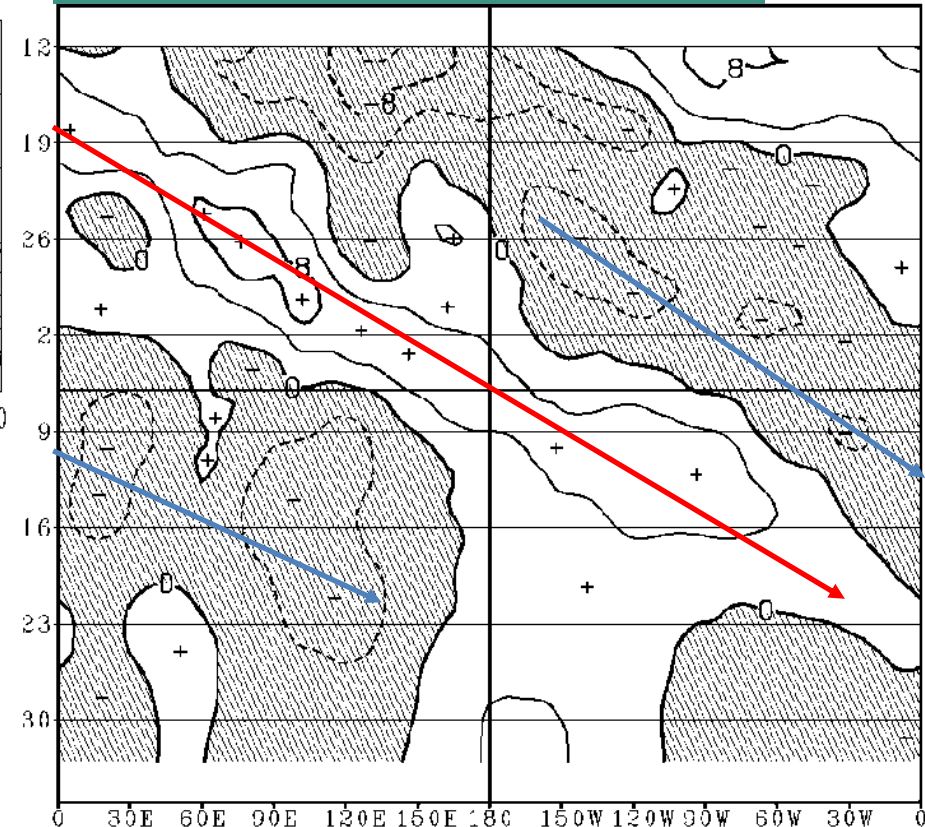
上空約1500mの気温(右図)は、北日本中心に平年を1℃以上上回ると予測されています。沖縄・奄美は平年を下回ると予測されていますが、平年との隔たりは小さい見込みです。

SST偏差



熱帯域では、インド洋東部から太平洋西部で正偏差。また、日本海から北太平洋中緯度帯で広く正偏差。日本の南から南シナ海で負偏差。

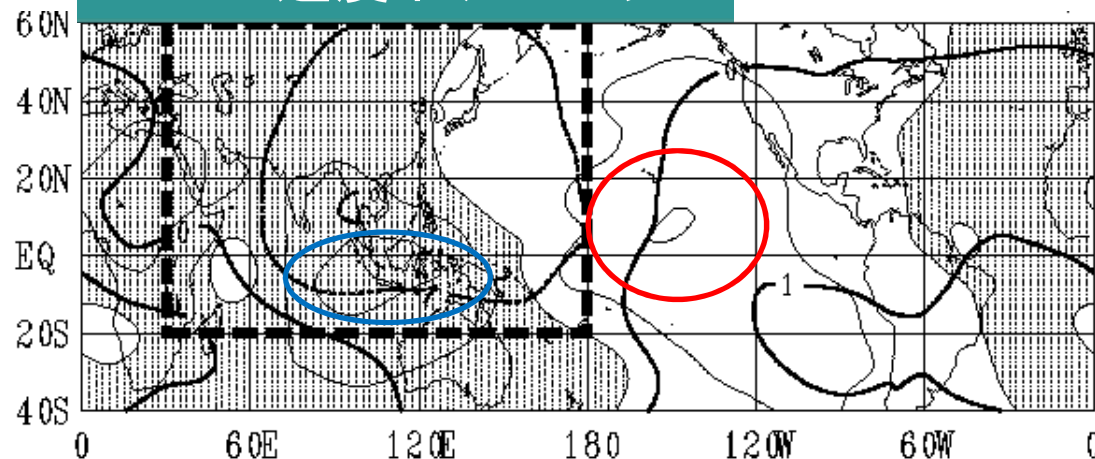
200hPa速度ポテンシャル偏差



発散偏差域(対流活発域)が、1週目から2週目にかけて、南米からインドネシア付近に東進。インド洋東部からインドネシア付近では期間を通して対流活発な状態が持続する。収束偏差域(対流不活発域)が、1週目から2週目にかけて、太平洋熱帯域の中部から南米に東進する。

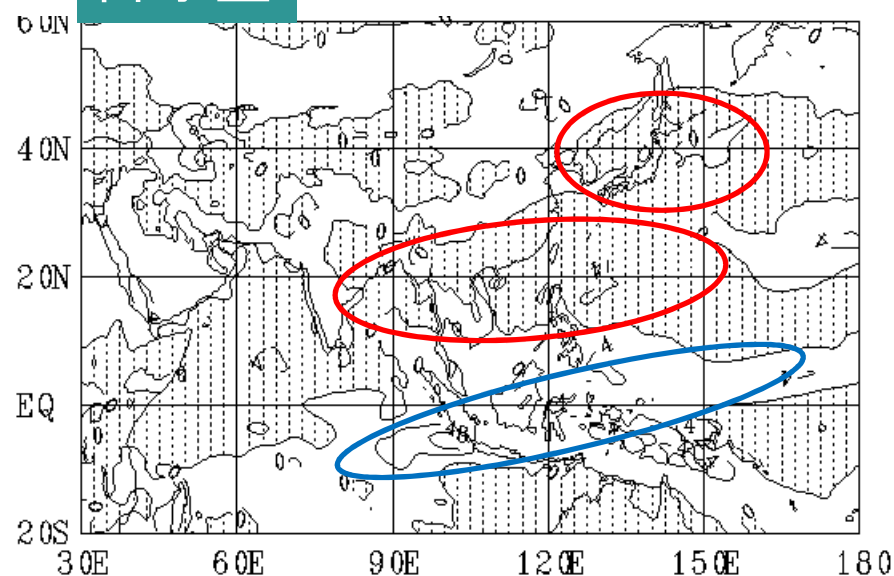
予報資料の解釈 1か月(8/9~9/5)

200hPa速度ポテンシャル



インド洋東部からインドネシア付近で上層発散偏差。一方、太平洋熱帯域の中部で上層収束偏差。

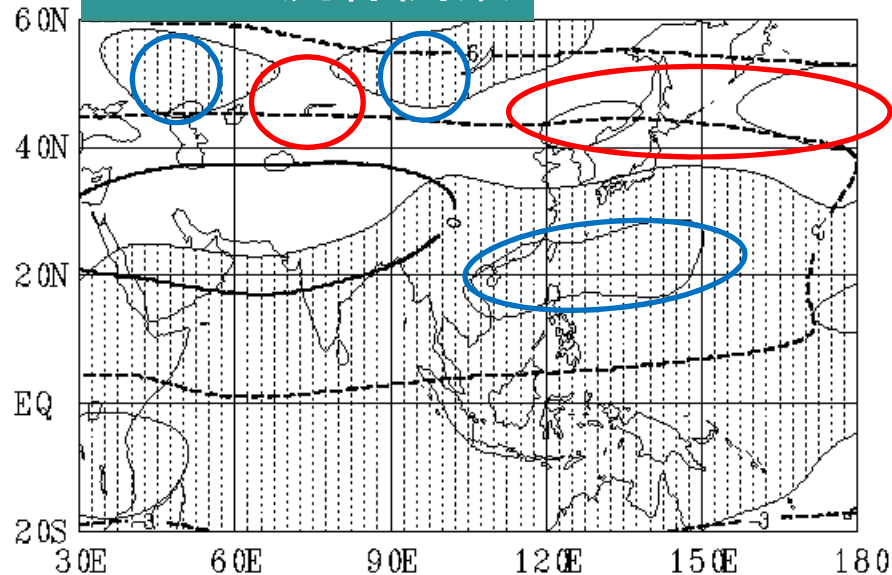
降水量



ベンガル湾からフィリピン東方海上にかけて少雨偏差。インド洋赤道域の東部からニューギニア島の北東海上で多雨偏差。日本付近から東海上にかけて少雨偏差。

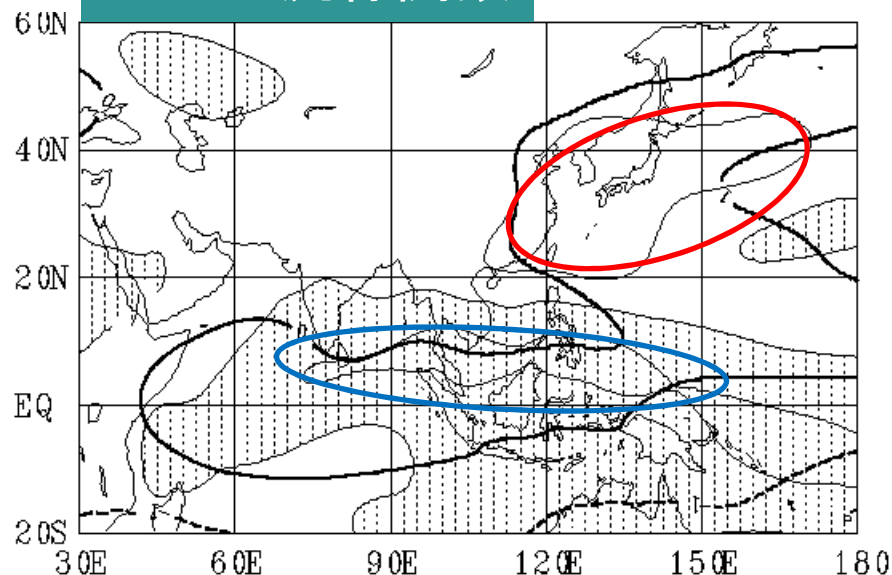
予報資料の解釈 1か月(8/9~9/5)

200hPa流線関数



ユーラシア大陸上で亜熱帯ジェット気流に沿って波列パターンが見られ、日本付近から日本の東海上にかけて、高気圧性循環偏差。平均的には、ユーラシア大陸から太平洋の中緯度帯は高気圧性循環偏差で、亜熱帯ジェット気流は北偏して流れる。日本の南では低気圧性循環偏差。

850hPa流線関数

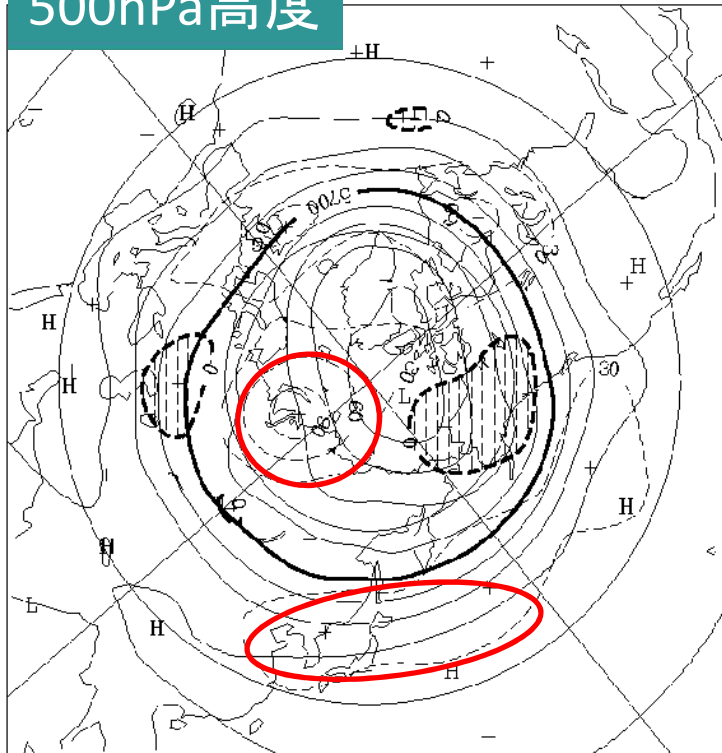


対流活動に対応して、インド洋東部からインドネシア北方にかけて低気圧性循環偏差。

北・東・西日本付近では、波束伝播の影響で強められた順圧的な高気圧性循環偏差、沖縄・奄美付近では対流活動の影響を受けて強められた高気圧性循環偏差。太平洋高気圧が日本の南で西へ張り出すとともに、日本付近を覆いやすいことを示している。

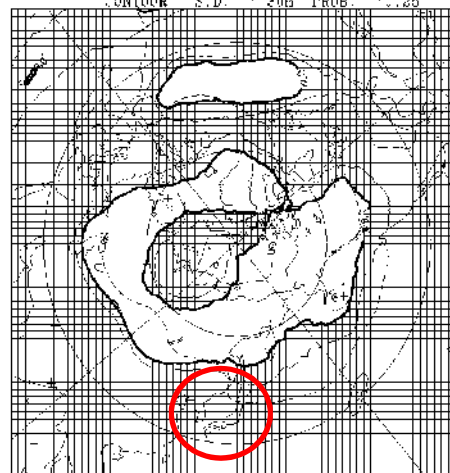
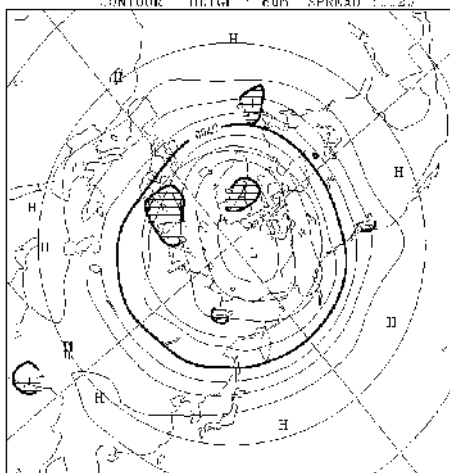
予報資料の解釈 1か月(8/9~9/5)

500hPa高度



500hPa SPREAD AND HEIGHT

PROB. OF H. ANOMALY AND S.D.

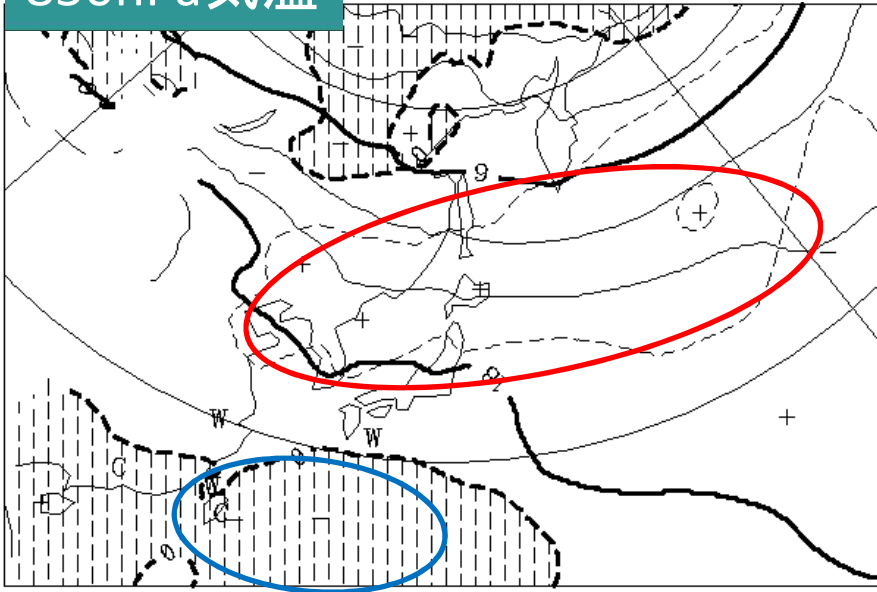


北半球は、ほぼ全域で正偏差。
バレンツ海付近で正偏差が大
きい。また、日本付近から太平
洋にかけて帯状に正偏差が大
きい。日本付近はこの正偏差
に覆われる。

日本付近は正の高偏差確率
75%以上の領域に覆われる。
日本付近ではスプレッドの大き
い領域はない。

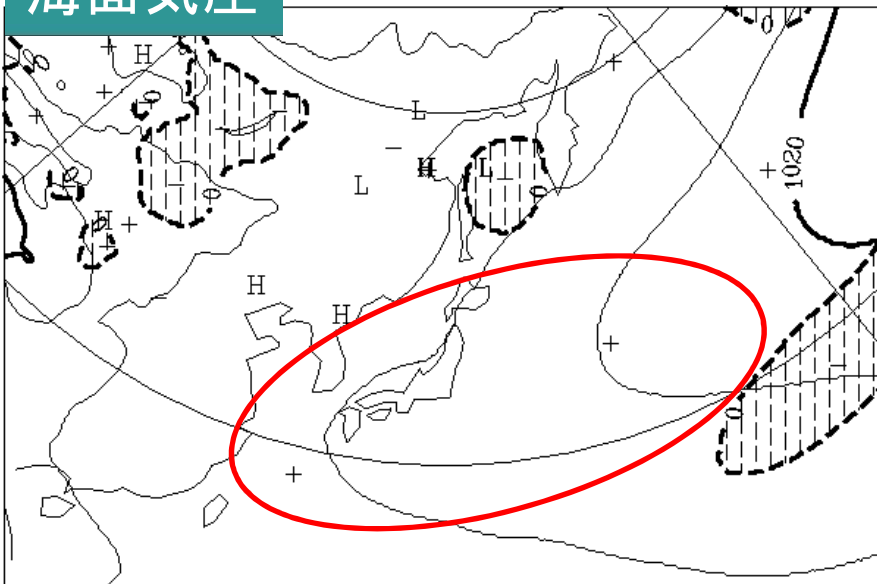
予報資料の解釈 1か月(8/9~9/5)

850hPa気温



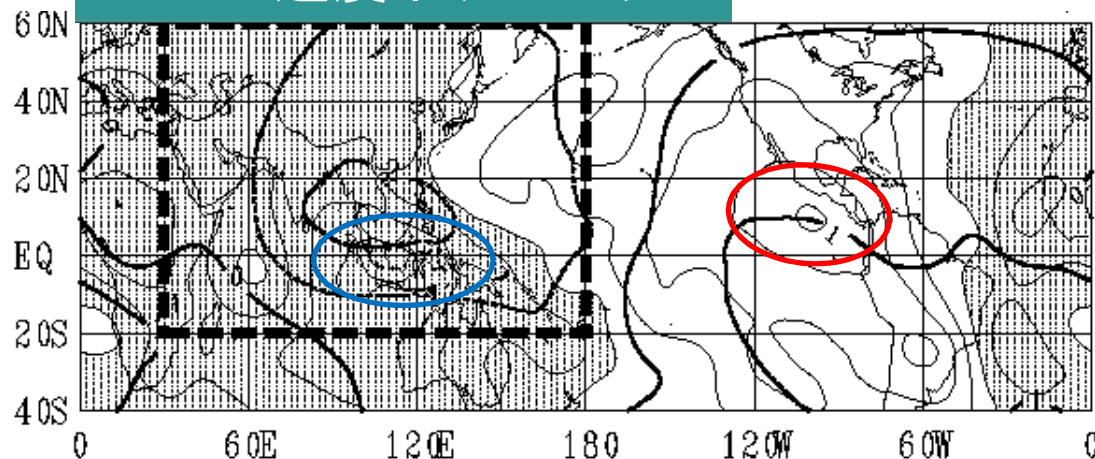
北日本を中心に正偏差が大きく、北・東・西日本はこの正偏差域に覆われる。一方、沖縄・奄美は弱い負偏差。

海面気圧



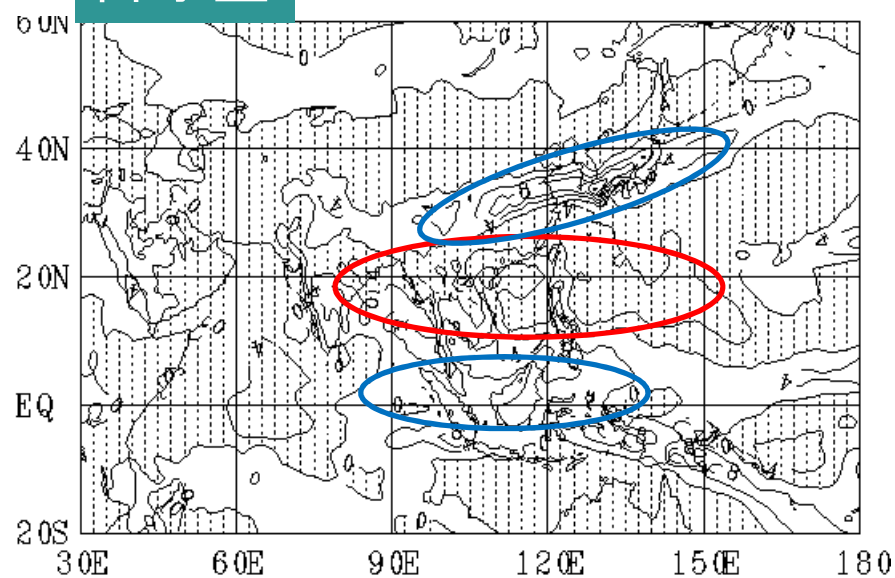
日本付近は正偏差で、太平洋高気圧は日本の東海上から日本付近に張り出している。全国的に太平洋高気圧に覆われやすい。

200hPa速度ポテンシャル



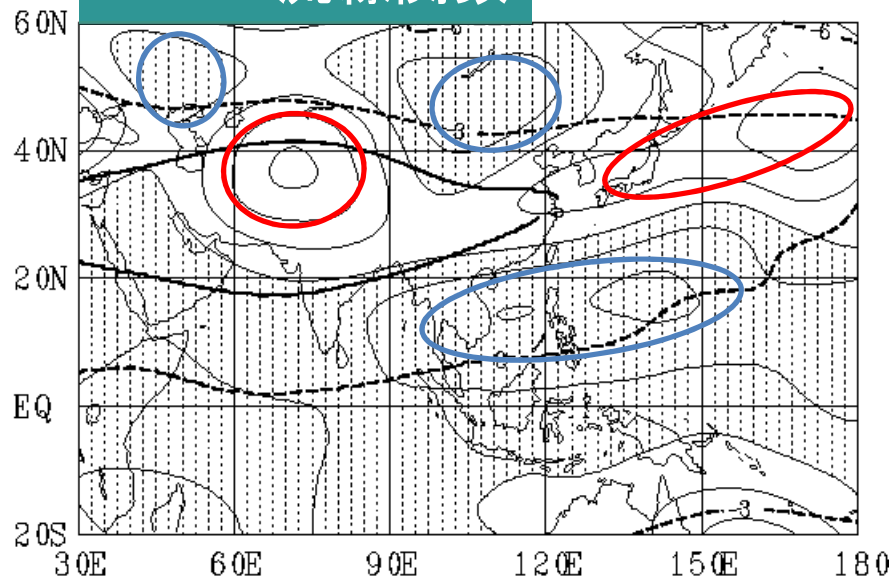
インドネシア付近で上層発散
偏差。太平洋熱帯域の東部
で上層収束偏差。

降水量



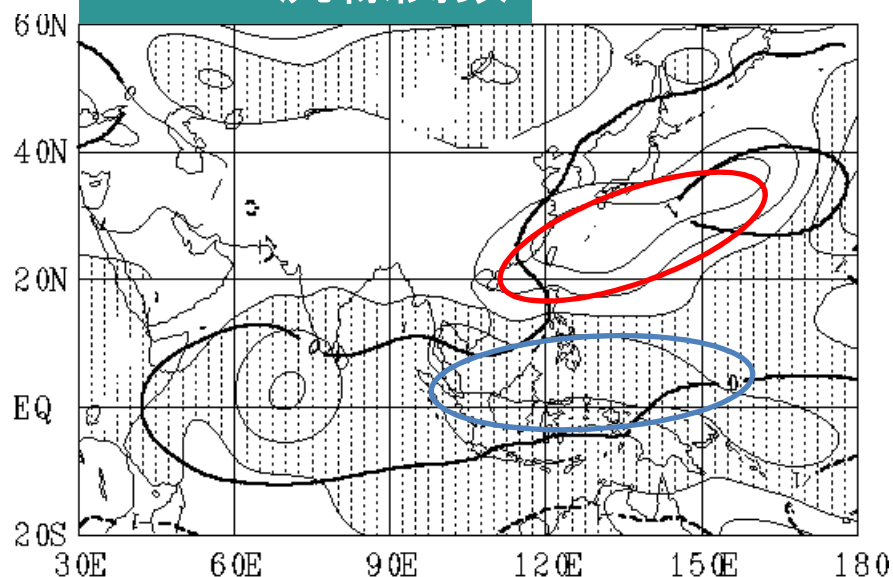
インドネシア付近で多雨偏差。
ベンガル湾からフィリピン東方
海上で少雨偏差。華中から本
州付近で多雨偏差。

200hPa流線関数



亜熱帯ジェット気流に沿って波列が見られ、バイカル湖の南東で低気圧性循環偏差、本州付近から日本の東海上で高気圧性循環偏差。
ベンガル湾からフィリピン東方海上で低気圧性循環偏差。

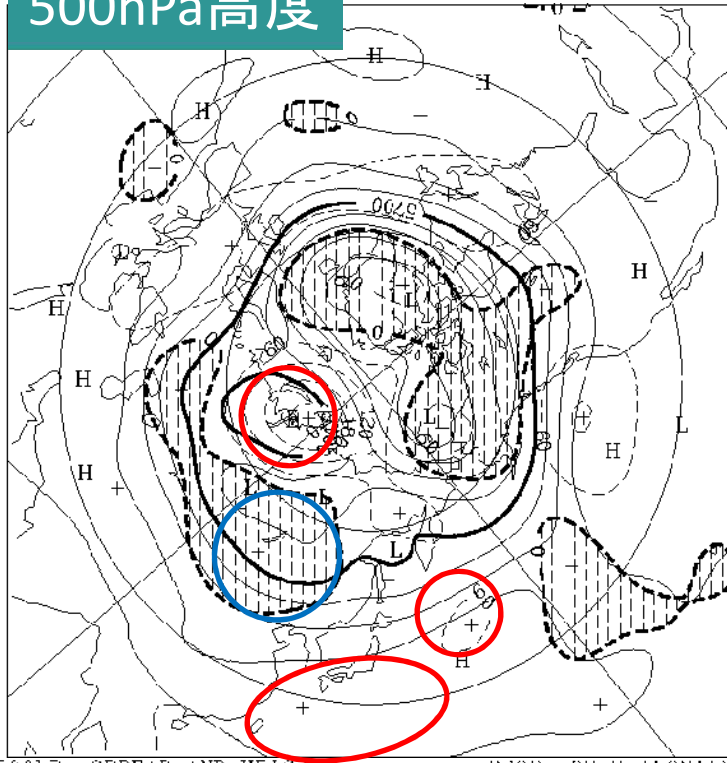
850hPa流線関数



対流活動に対応して、インドネシアの北方で低気圧性循環偏差。
日本の南で高気圧性循環偏差で、太平洋高気圧が日本の南で南西に張り出す。東・西日本中心に太平洋高気圧周辺の湿った空気の影響を受けやすい。

予報資料の解釈 1週目(8/9~8/15)

500hPa高度

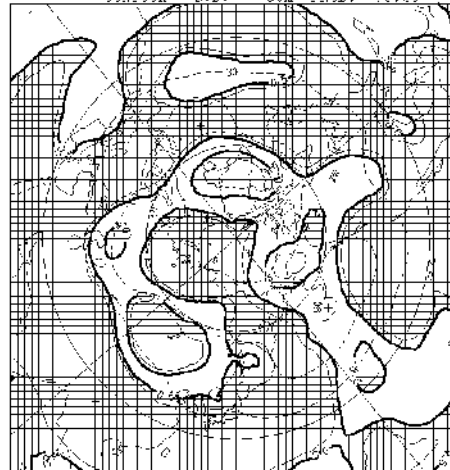
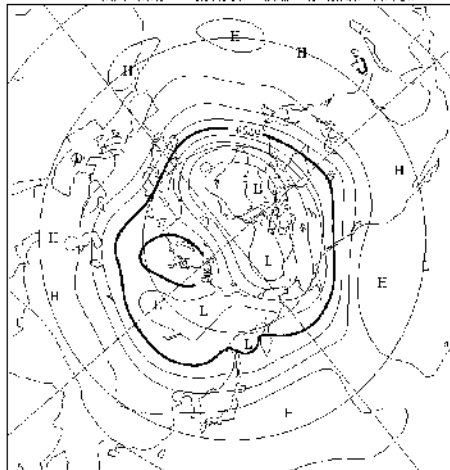


500hPa SPREAD AND HEIGHT

PROB. OF H. ANOMALY AND S.D.

CONTOUR HEIGHT: 63m SPREAD: 0.20

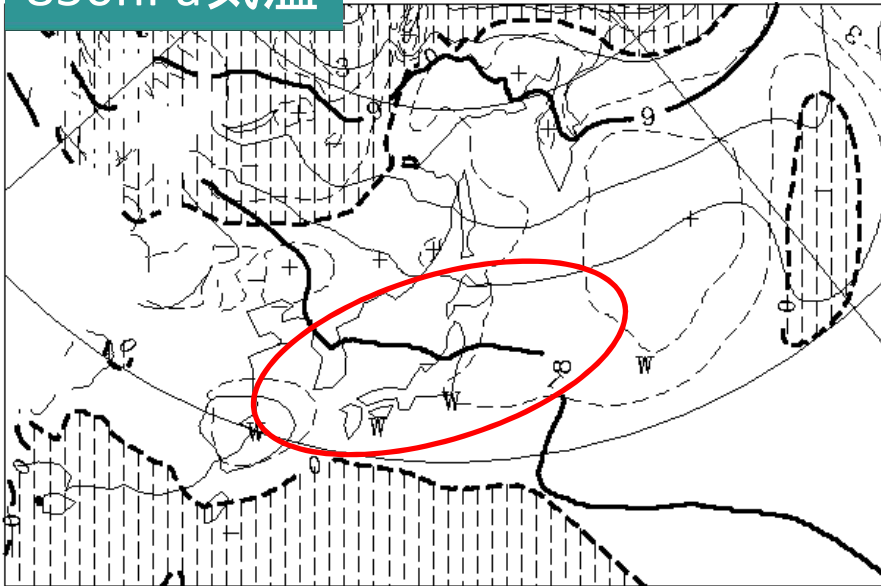
CONTOUR S.D.: 33m PROB.: 0.25



バレンツ海付近にブロッキング高気圧があり、その南東側のバイカル湖の南東にトラフが見られる。日本の東海上は正偏差が明瞭で、日本付近は西谷傾向。日本の南で高気圧が強い。

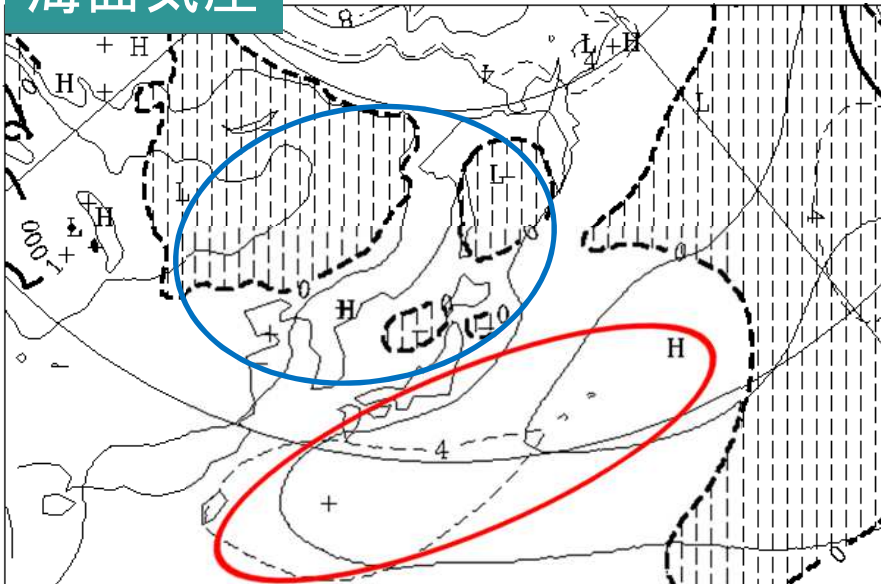
予報資料の解釈 1週目(8/9~8/15)

850hPa気温



北・東・西日本は、正偏差に覆われる。沖縄・奄美は平年程度。

海面気圧



太平洋高気圧は、日本の南で西に張り出す。一方、バイカル湖の南東からオホーツク海、北日本は低圧部となる。東・西日本中心に、低気圧や前線、高気圧周辺の湿った空気の影響を受けやすい。沖縄・奄美は高気圧に覆われやすい。

想定される天候

- ・ 北日本では、天気は数日の周期で変わるでしょう。
- ・ 東・西日本では、低気圧や前線、湿った空気の影響で、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。
- ・ 沖縄・奄美では、太平洋高気圧に覆われやすく、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

<気温>

次第に太平洋高気圧が本州付近に張り出し、暖かい空気が流れこみやすくなるため、全国で高温。北日本と沖縄・奄美でかなりの高温となる見込み。

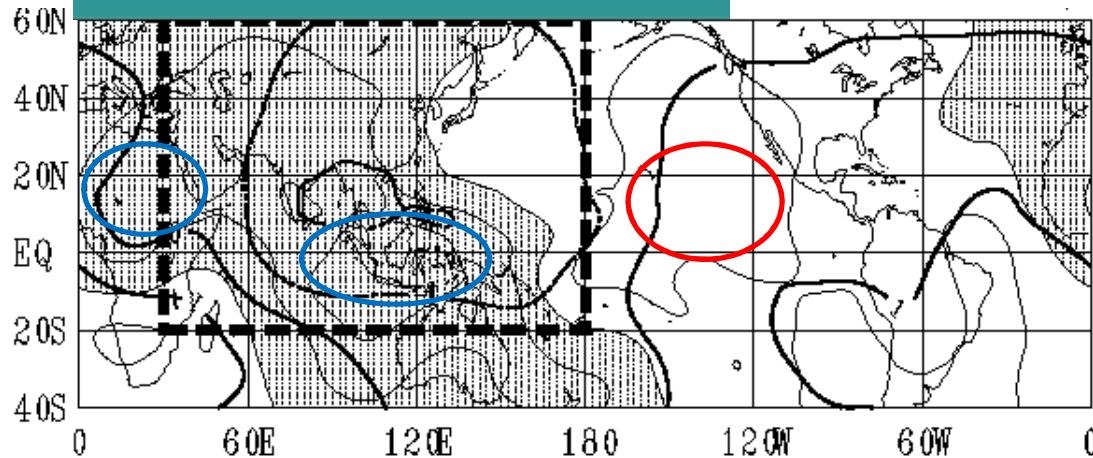
<天候>

北日本では、天気は周期変化で、降水量、日照時間とも平年程度。ただし、東北日本海側では、前線や低気圧、湿った空気の影響を受けやすく、寡照傾向。

東・西日本では、前線や低気圧、太平洋高気圧周辺の湿った空気の影響を受けやすく、西日本と東日本日本海側で多雨・寡照、東日本太平洋側で多雨傾向・寡照。

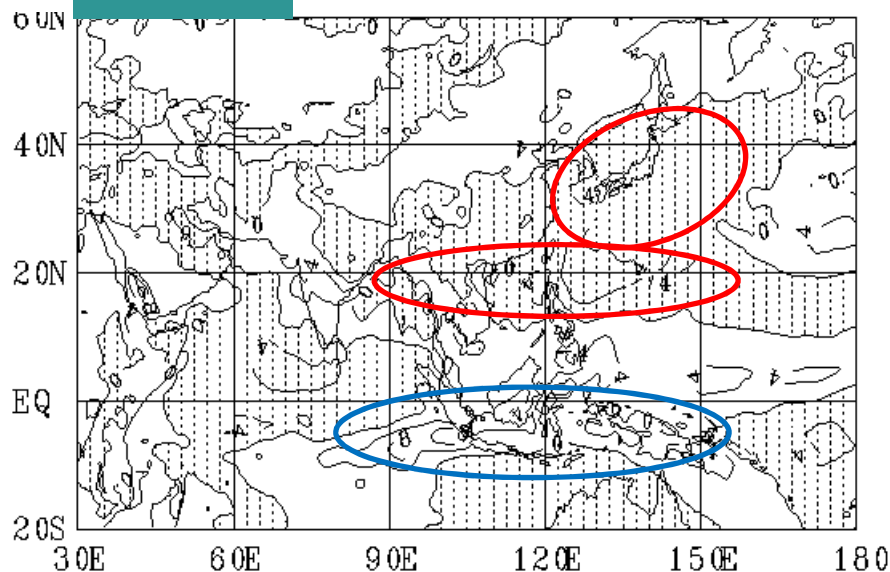
沖縄・奄美は、太平洋高気圧に覆われやすく、少雨・多照傾向。

200hPa速度ポテンシャル



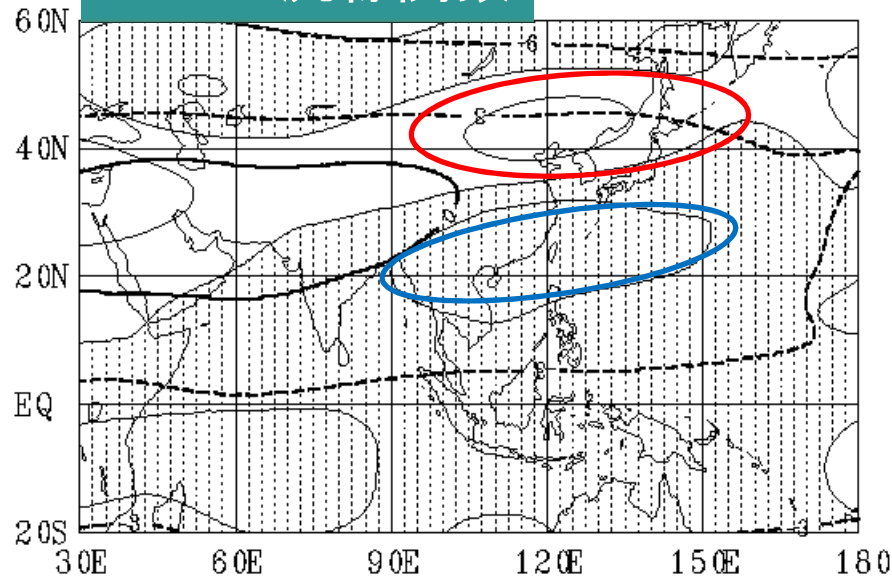
インド洋東部からインドネシア付近、アフリカで上層発散偏差。太平洋熱帯域の中部から東部で上層収束偏差。

降水量



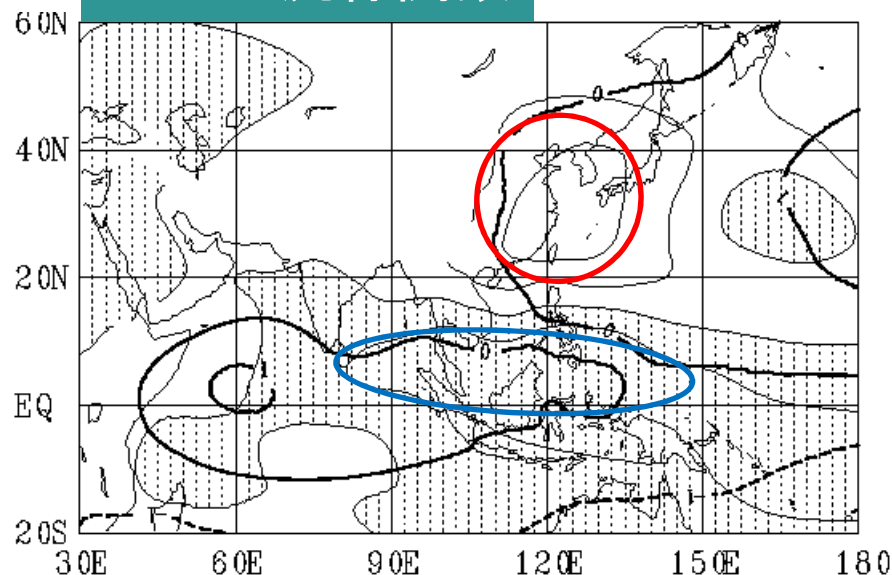
インド洋熱帯域の南東部からインドネシア付近で多雨偏差。ベンガル湾からフィリピン東方海上で少雨偏差。日本付近は1週目の本州付近での多雨偏差から全国的な少雨偏差となる。

200hPa流線関数



華北から北日本にかけて、高気圧性循環偏差。一方、華南から日本の南で低気圧性循環偏差。低気圧性循環偏差は1週目に比べ、全体に北上している。

850hPa流線関数

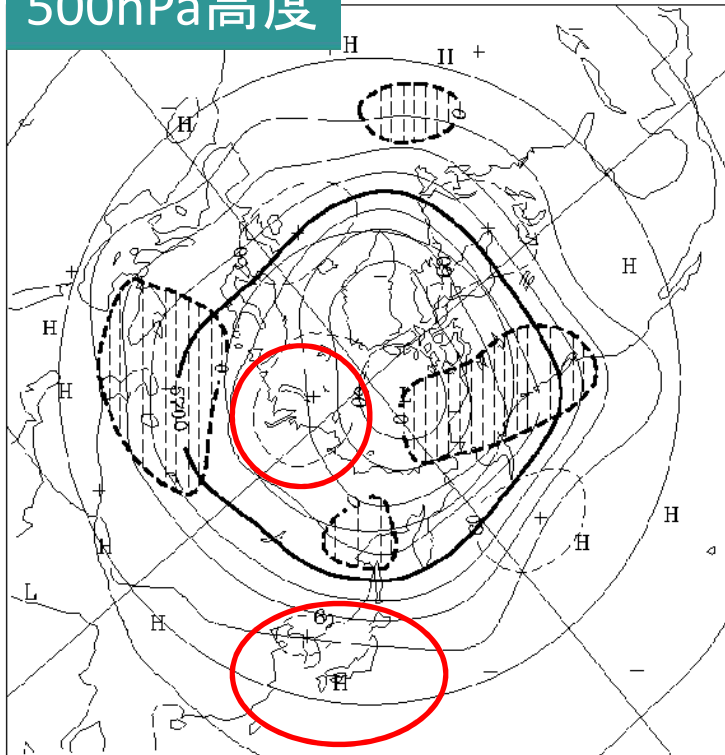


対流活動に対応して、インド洋東部からインドネシアの北方で低気圧性循環偏差。

沖縄・奄美から西日本にかけて高気圧性循環偏差。沖縄・奄美付近の高気圧性循環偏差は、インド洋東部からインドネシア付近の対流活動の影響を受けている可能性がある。西日本付近の高気圧性循環偏差は順圧的な構造。

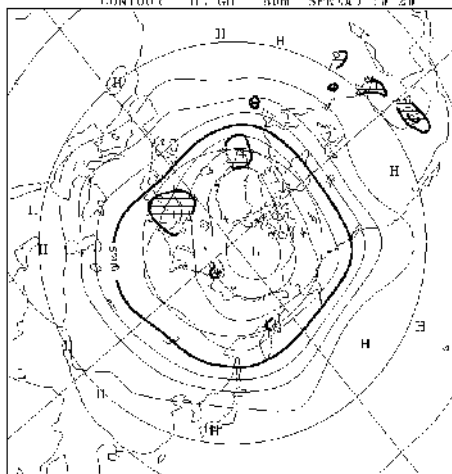
予報資料の解釈 2週目(8/16~8/22)

500hPa高度



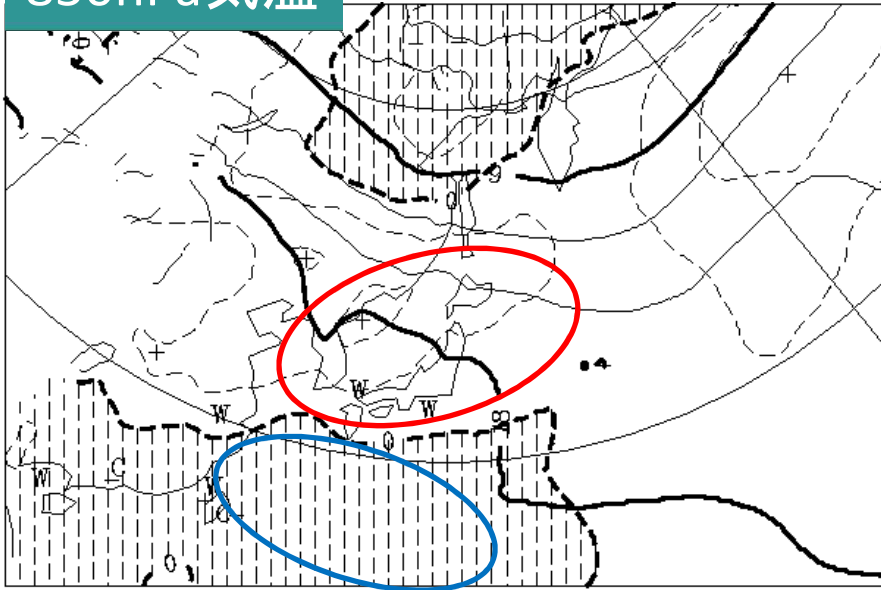
500hPa SPREAD AND HEIGHT

PROB. OF H. ANOMALY AND S.D.



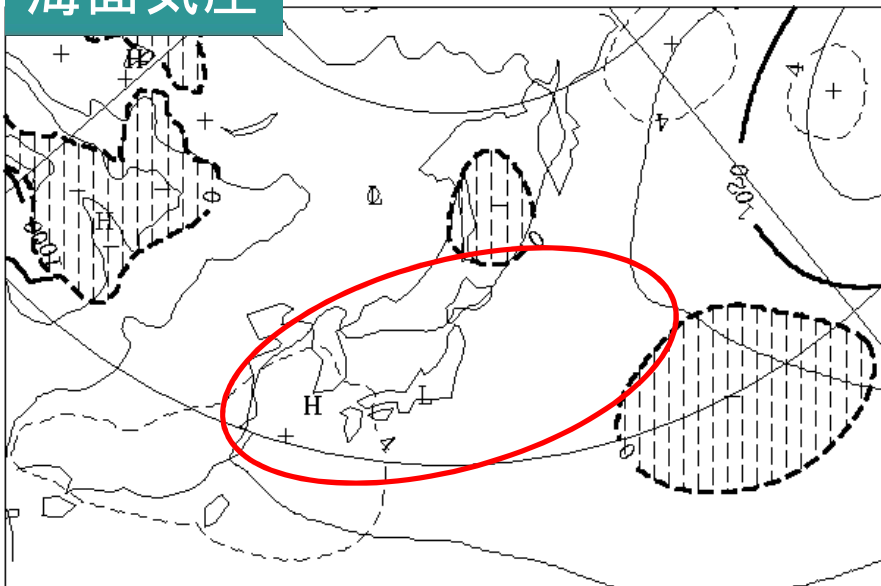
予報資料の解釈 2週目(8/16～8/22)

850hPa気温



北・東・西日本は、正偏差に覆われる。日本の南から沖縄・奄美は弱い負偏差。

海面気圧



日本付近は、太平洋高気圧に覆われる。

想定される天候

- ・ 北日本では、天気は数日の周期で変わりますが、太平洋高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。
- ・ 東・西日本、沖縄・奄美では、太平洋高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

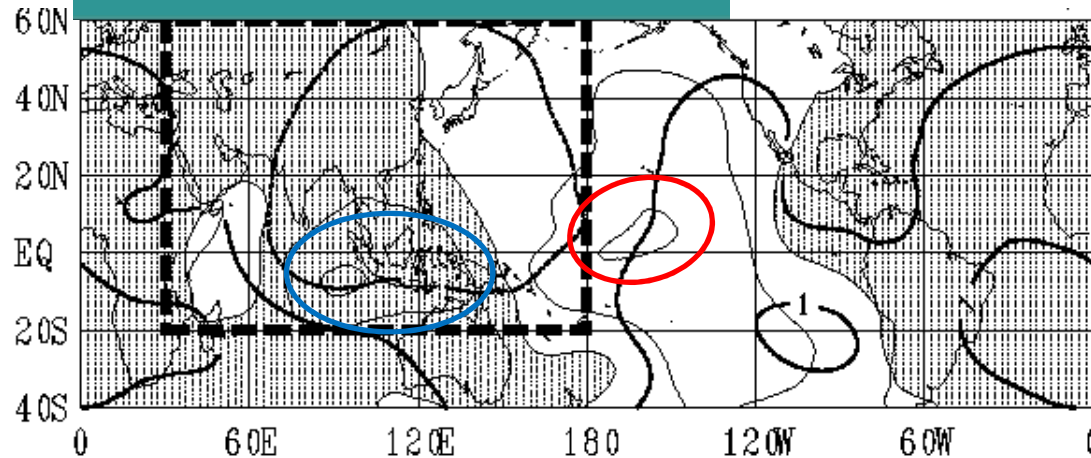
<気温>

太平洋高気圧が日本付近に張り出し、暖かい空気に覆われやすいため、北・東・西日本で高温で、かなりの高温となる可能性がある。沖縄・奄美で高温傾向。

<天候>

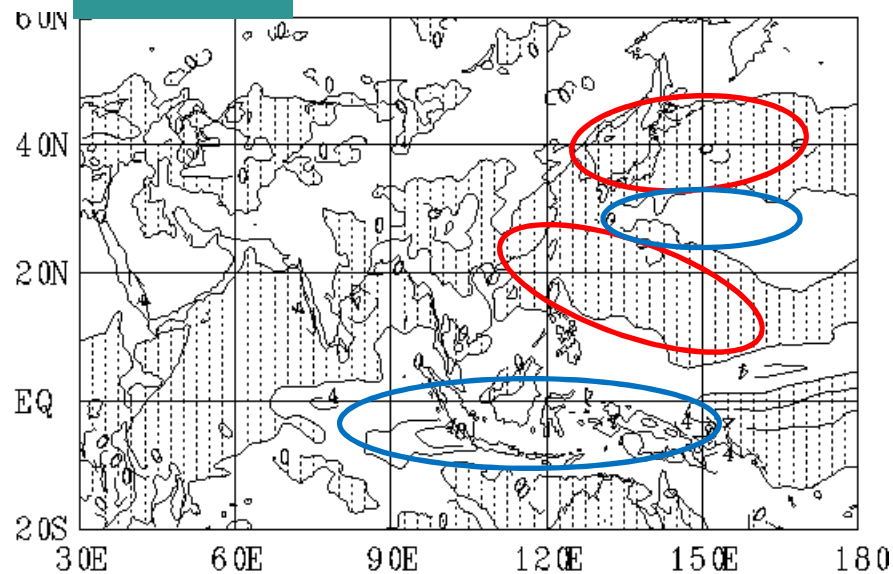
・全国的に、太平洋高気圧に覆われやすく、北日本太平洋側、東・西日本で少雨・多照。北日本日本海側で少雨傾向・多照。沖縄・奄美では、少雨傾向・多照傾向。

200hPa速度ポテンシャル



インド洋東部からインドネシア付近で上層発散偏差。太平洋熱帯域の中部で上層収束偏差。

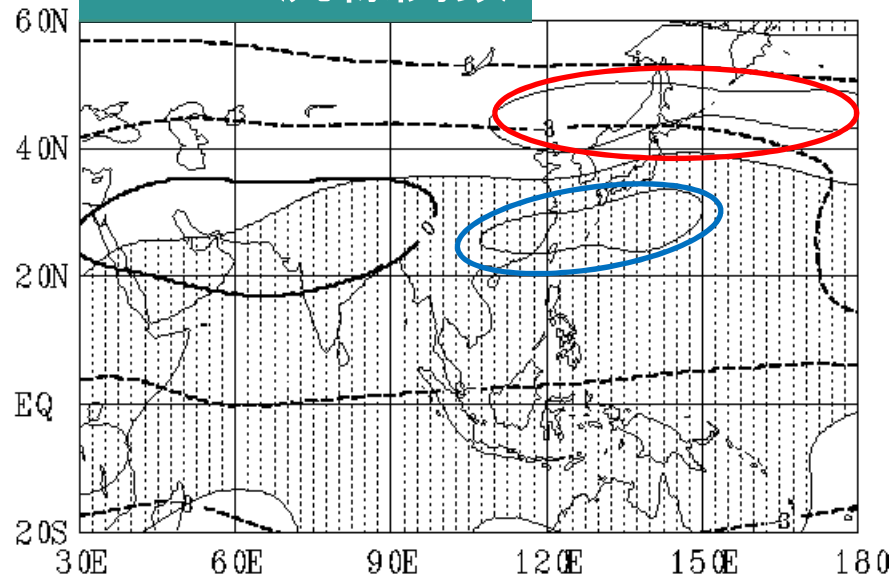
降水量



インド洋熱帯域の南東部からインドネシア付近で多雨偏差。フィリピン東方海上で少雨偏差。日本付近も2週目に引き続き少雨偏差。日本の南に弱い多雨偏差域が見られる。

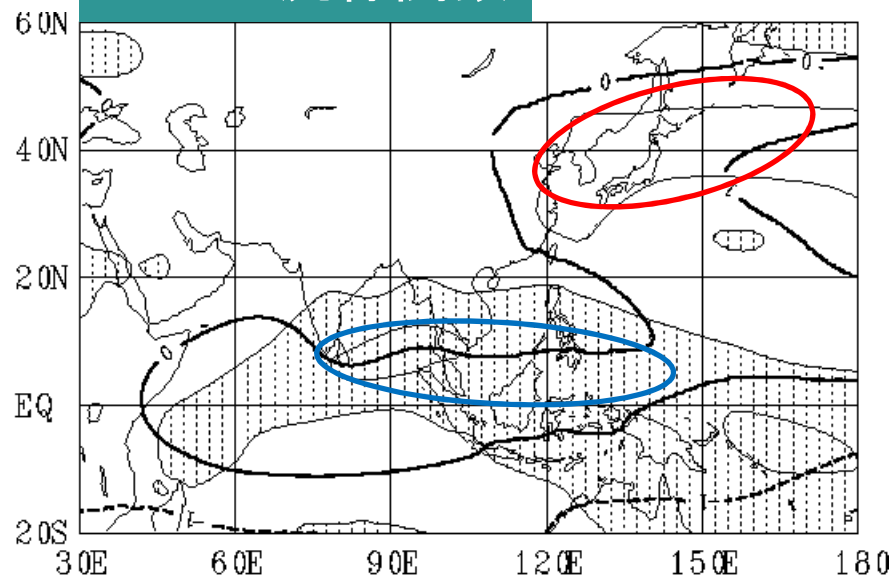
予報資料の解釈 3～4週目(8/23～9/5)

200hPa流線関数



中国東北区から日本のはるか東海上にかけて、高気圧性循環偏差。一方、華南から日本の南で低気圧性循環偏差。

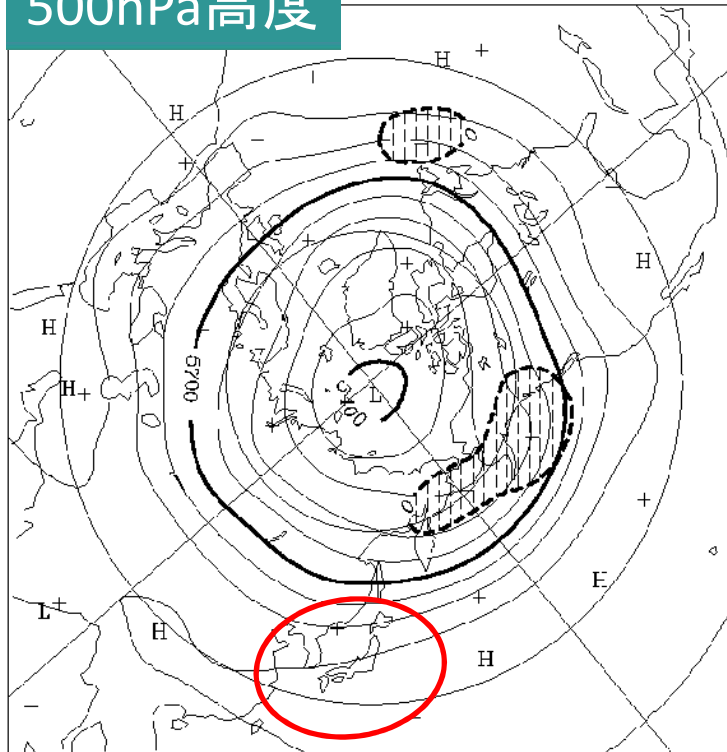
850hPa流線関数



対流活動に対応して、インド洋東部からインドネシアの北方で低気圧性循環偏差。
日本付近は順圧的な高気圧性循環偏差。

予報資料の解釈 3～4週目(8/23～9/5)

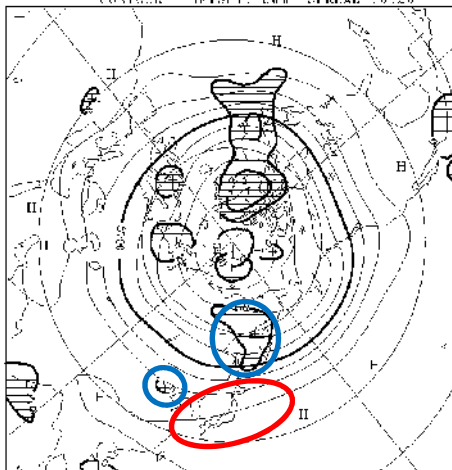
500hPa高度



北半球はほぼ全域で正偏差。
日本付近も正偏差で、2週目
に引き続き高気圧に覆われる。

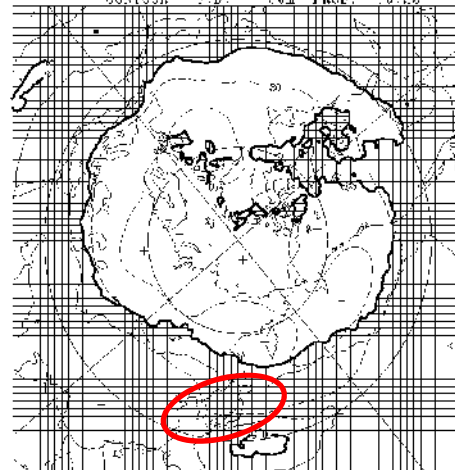
500hPa SPREAD AND HEIGHT

CONTOUR HEIGHT: 60m SPREAD: 0.20



PROB. OF T. ANOMALY AND S.D.

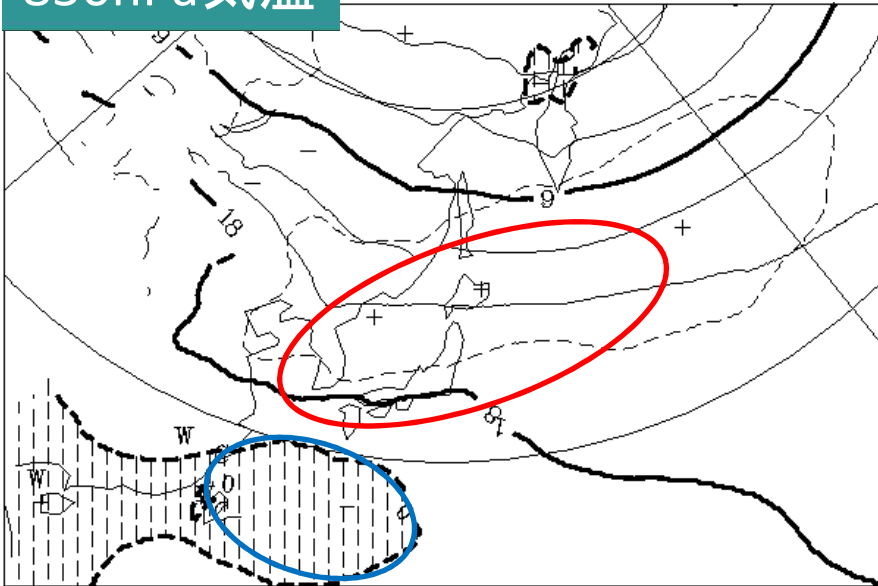
CONTOUR S.D.: 20% PROB.: 0.25



日本付近は正の高偏差確率
50%以上の領域に覆われる。
オホーツク海付近や華北付近
でスプレッドの大きい領域が見
られるが、日本付近でのスプ
レッドは小さい。

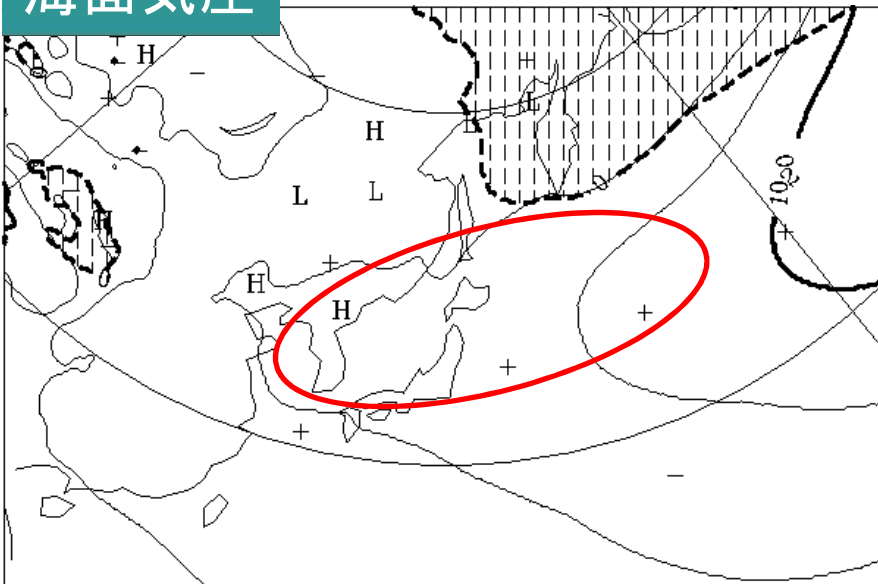
予報資料の解釈 3～4週目(8/23～9/5)

850hPa気温



北・東・西日本は、2週目に引き続き、正偏差に覆われる。日本の南から沖縄・奄美も領域は縮小するが、引き続き、弱い負偏差。

海面気圧



北・東・西日本は、2週目に引き続き、太平洋高気圧に覆われるが、沖縄・奄美は高気圧周辺の湿った空気の影響をやや受けやすくなる可能性がある。

想定される天候

- ・ 北日本では、天気は数日の周期で変わりますが、太平洋高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。
- ・ 東・西日本では、太平洋高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。
- ・ 沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

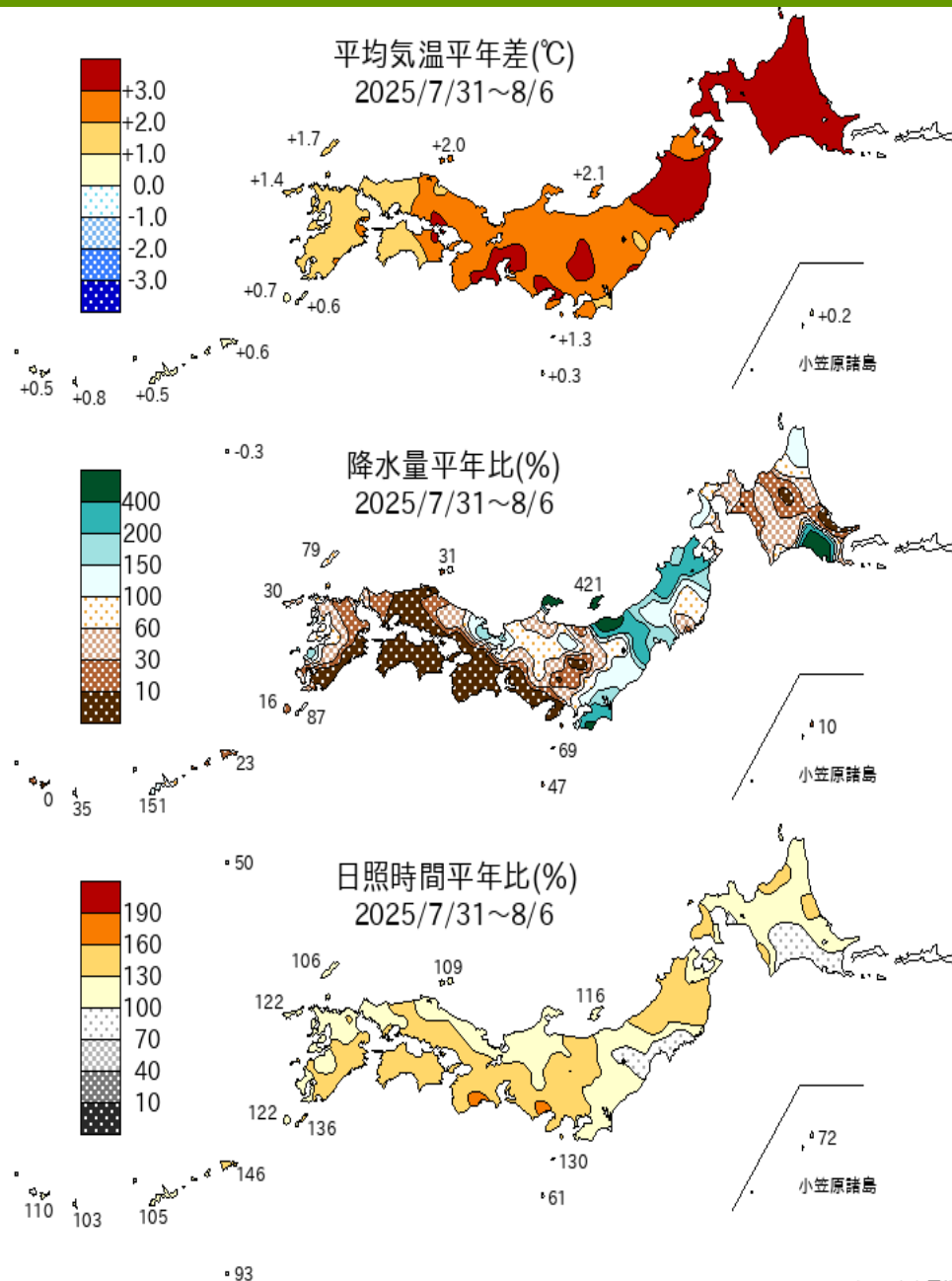
<気温>

太平洋高気圧が本州付近に張り出し、暖かい空気に覆われやすいため、北・東・西日本で高温。沖縄・奄美で高温傾向。

<天候>

・太平洋高気圧に覆われやすく、北・東日本と西日本日本海側では、少雨傾向・多照。西日本太平洋側では少雨傾向・多照傾向。沖縄・奄美では、太平洋高気圧に覆われるが湿った空気の影響を受ける時期もあり、降水量、日照時間とも平年程度。

最近1週間の天候経過



最近1週間(7月31日~8月6日)は、1~2日に台風第9号の影響で北・東日本太平洋側の一部で雨が降ったほかは、4日頃までは北・東・西日本では高気圧に覆われて晴れたところが多くなりました。5日以降は、日本海から北日本を進んだ低気圧やそれに伴う前線、太平洋高気圧周辺の湿った空気の影響で、北日本や日本海側中心に曇りや雨となり、一部で大雨となりました。沖縄・奄美でも、晴れた日が多かったものの、沖縄地方中心に、湿った空気の影響で雨の降った日もあり、4日頃は一部で大雨となりました。降水量は北・東日本中心に平年を上回ったところがあったほかは、平年を下回りました。日照時間は全国的に平年を上回ったところが多くなりました。気温は、背の高い暖かい高気圧に覆われて晴れたため、全国的に平年を大きく上回りました。5日には群馬県伊勢崎で日最高気温が41.8℃となり、全国の气象台等とアメダスにおける観測史上1位の高温を記録しました。

(2025/8/7更新)

All rights reserved. Copyright(c) Japan Meteorological Agency